

はじめに

太平洋戦争の末期、寝屋川市もアメリカ軍の攻撃を受け被害を被りました。

しかし、広島・長崎の原子爆弾、東京・大阪の大空襲があまりにも被害が大きく、寝屋川市の惨禍はほとんど語られることがありませんでした。

また、昭和41年に発行された寝屋川市誌にもわずか10数行しか記載されておらず、加えて、体験者の死亡や加齢のため悲惨な記憶が失われつつあります。

寝屋川市では、戦後61年を迎えた今年が戦争の惨禍を記録する最後の機会であると位置づけ、体験された方々の証言を基に記録集を作成しました。

この悲惨な記録を後世に伝えることが、現在を生きる私たちの平和への想いを託した未来へのメッセージとなることを願っています。



◎寝屋川市の惨禍を証言いただいた方々（記載順）

- ①中川きしえ さん（葛原1丁目：本人の録音テープでの証言）
- ②浅田 茂 さん（葛原2丁目）
- ③杉本正明 さん（黒原城内町）
- ④藤本小一 さん（点野3丁目）
- ⑤堤下 清 さん（仁和寺本町3丁目）
- ⑥山下 進 さん（下神田町）
- ⑦川口重樹 さん（田井町）



◎聞き手

- 寺西郁雄 さん（平池町）

